

議 事 録

件 名	久留米市セーフコミュニティ事前指導 防犯対策委員会
日 時	令和4年12月20日（火）15：30～17：10
場 所	えーるピア久留米 209研修室、210・211研修室
出席者	委 員 猪飼委員長、籾副委員長、荒川委員、倉富委員、渡邊委員、堀田委員 古賀（一）委員、松岡委員、首藤委員、古賀委員、今村委員 原委員（代理で緒方補佐）、岡部委員（代理で御厨主査）
	事務局 柳セーフコミュニティ主幹、岡補佐、坂田主査、石井（安全安心推進課）
欠 席 者	九重委員、金谷委員、江藤委員、江崎委員、古賀（三）委員、酒井委員、 吉村委員
傍 聴 者	なし
次 第	1. 事前指導（210・211研修室） （1）開会 （2）出席者紹介 （3）プレゼンテーション発表 （4）質疑応答 2. 正副委員長選出（209研修室）
質 疑	1. 事前指導
ワ シ 先 生	上海でもニセ電話詐欺が多い。久留米市の具体的な対策を伺いたい。
事 務 局	対策は大きく2つ。1つ目に、ニセ電話詐欺は、ゲリラ的にかかってくることから、どれだけ早く情報を降ろすかが大切。地域の青パトによりリアルタイムで注意喚起を行っている。二つ目は、ニセ電話詐欺のほとんどが、固定電話にかかってくることから、防犯機能のある電話機の普及を行っている。
ワ シ 先 生	防犯機能のついた電話機で防げるのか。
事 務 局	防げる。犯人は証拠が残るのを嫌う。また、逮捕した犯人への聞き取りによると、犯行マニュアルのなかに防犯機能がある場合は諦めるというのがある。
ワ シ 先 生	若い世代が暴力団になるのを防ぐとあるが、どういう子ども達が暴力団に狙われやすいのか。

議 事 録

事 務 局	少し前までは、家庭に事情を抱えるケースが多かったが、今は SNS の普及で、誰しもが狙われる危険性がある。
ワ ン 先 生	ターゲットが絞れない以上、対策は非常に難しい。若い世代へのアプローチの方法は、学校安全対策委員会を通す等の工夫が必要である。
チ ョ 先 生	青パト活動頻度や自治体の補助、警察との関わり伺いたい。
事 務 局	青パトは地域により運営されているため活動頻度は一律ではない。市より車両のリース代やガソリン代、保険料などを補助している。青パト活動には、警察の講習を受けたものが従事している。

指摘事項等	No	助言・指摘事項・課題
	1	暴力団に関する若い世代へのアプローチは、ターゲット層が絞れない以上、非常に困難である。学校対策委員会を通じた取り組み等を検討する必要がある。